

# 会 議 録

会 議 名	令和6年度 山形市郷土館運営協議会
開催日時	令和6年7月2日（火）午前10時30分～11時34分
開催場所	山形市役所9階901会議室
出席者	委員8名 山内励委員（会長）、佐藤琴委員（副会長）、齋藤祐一委員、 貞弘光章委員、佐藤美代子委員、志村直愛委員、竹原万雄委員、 長谷川多美子委員  事務局8名 平吹文化スポーツ部長、村上次長(兼)文化創造都市課長、 山川文化創造都市課長補佐、齋藤課長補佐（兼）文化財係長、 田辺主幹、武田郷土館会計年度任用職員、今地域おこし協力隊員、 伊藤地域おこし協力隊員
傍聴者	傍聴者0名 記者0名
議 題	報 告 （1）令和5年度山形市郷土館事業報告について 協 議 （2）令和6年度山形市郷土館事業計画(案)について その他
資 料	資料 令和5年度 山形市郷土館事業報告 資料 令和6年度 山形市郷土館事業計画(案) 資料1 令和5年度山形市郷土館月別入館者数及び郷土館入館者数の 推移 資料2 郷土館展示室平面図 資料3 令和5年山形市郷土館アンケート調査 資料4 令和6年度山形市郷土館 新収蔵品展チラシ

## 1 開会

## 2 文化スポーツ部長あいさつ

## 3 会長あいさつ

（これより、山形市郷土館運営協議会条例第6条の規定により、山内会長が議長となる。）

## 4 報告

### （1）令和5年度山形市郷土館事業報告について

※事務局より、「資料 令和5年度山形市郷土館事業報告」に基づき、報告。

- 議長 令和5年度の山形市郷土館事業報告についてご質問、ご意見等ありますでしょうか。デジタルアーカイブの説明などもありましたが、補足などあれば。
- 委員 山形アーカイブ実行委員会は資料の収集、デジタル化などを進めてきましたが、昨年4月から公開をし、大変好評をいただいている。現在の地図と昔の地図を重ね合わせて、その場所が今どうなっているのか見ることが出来る機能があるが、そのことについて、今日も石川県の公園緑地課から問い合わせがあった。今後も公開点数を増やしていくつもりである。  
アンケート結果を見ると、郷土館を知ったきっかけで、旅行雑誌も多いが、インターネットを通じた観光情報も高い割合だということが分かった。そういったところにアピールしていけるようにしていきたいと思っている。
- 委員 アンケートについてお伺いしたい。以前聞いた県外の来館者が9割を占めるという話は、このアンケート結果からということだと思う。9月の23日、24日の良い季節の連休のデータだが、これ以外の時期にアンケート調査は行っていないのか。もしかすると平日などは市民が多いかもしれない。もう少し確実な方法で市民や県民の来館者数などを把握したい。このアンケートは、市内、県内、県外のみを選択肢なのか。
- 事務局 市内、県内、県外のみである。
- 委員 県外でも、隣県なのか、より遠くなのか分かるとよい。放送大学なども兵庫から山形校の講座を聞きに来る方もいる。来館者の地域分布も分かるとよいのではないか。
- 委員 どこから来たかを把握するときには、地図とシールを用意して、どこから来たかを、その地図にシールを貼ってもらう方法が、一番簡便で、見て分かりやすい。そうすると、他の来館者の方も見て楽しめる。設置場所が必要だが、あまり手間がかからず把握することができる。外国人の来館者もあると思うが、外国人はみかけではどこの国の方か分からない。その場合も、地図方式が有効なのではないか。
- 事務局 貴重なご意見ありがとうございます。現在のアンケートのやり方としては、特定の2日間に窓口で来館者にアンケートをお配りしている。回収率が高いのでこの方法で行っている。以前は、アンケートを設置して、書いていただけの方に書いていただく方法もとっていたが、その時はほとんど回収できなかった。体感的には、春の桜の季節は市民の来館者が多いとは思っている。アンケートを取る季節の変更や、平日に取るなど、やり方、内容を検討していければと考えている。
- 委員 県立博物館の移転整備に係る博物館の利用者調査を行っている。霞城公園内を人がどのように移動しているかを調査している。その成果も可能であれば利用させてもらえると良いと思う。
- 議長 ほかにご意見、ご質問なければ次の協議に入りたい。

## 5 協議

### (1) 令和6年度山形市郷土館事業計画（案）について

※事務局より、「資料 令和6年度山形市郷土館事業計画(案)」に基づき、説明

議 長 事業計画（案）について、ご質問、ご意見がある方はお願いします。

委 員 教育資料館などに比べて、郷土館は平面が複雑で、階段を昇って降りてくると、もう十分だという感じになって、大事なものを見逃しているのではないかと感じる。可能であれば、パンフレットとは別に、ミュージアムマップのようなものを作成してはどうか。何があって、どのような配置になっていて、自分の残り時間からどれを見て歩こうか、考えられるようなものがあると見逃しなくなるのではないか。例えば、見学できる時間別に15分コース、30分コースなどの順路などが分かるようなものを検討してみてもどうか。

事 務 局 貴重なご意見をありがとうございます。今までそういった視点がなかった。確かに館内は複雑な作りで、なにがあるか初見の方には分かりにくいと思う。分かりやすい案内マップの作成や、展示ルートの検討をさせていただきたい。

委 員 博物館を目指してくる方もいるが、どちらかと言えば、山形に来てふらっと公園に寄ってみて、ちょうど博物館があったので入る、そういう方が結構な数いらっしゃる。山形城跡を見ながら、こんなところに郷土館があるんだと見つけてふらっと入られる、そういう方に「こういうものがありますよ。」という、見た瞬間に分かるような、あまり看板のようなものをでかでか出すのも外観を損ねると思うが、なにか知らしめるようなものを、企画展の際などに出して、工夫してみると良いのではないか。医学資料だけでなく、企画展なども開催していることが分かると、さらに入りやすくなるのではないか。じっくり時間をかけて見る方は実は少ない。博物館もそうだが、駆け足で見る、決まった時間の中で見る方が多いので、展示の目玉のようなものがパッと分かると、来館者が効率よく見られるのではないか。

委 員 実は今年、済生館創立150周年の年にあたる。明治7年に公立病院として現在の七日町に建てられてからの150年間を紐解くと、済生館には明治期からの輝かしい歴史がある。今、二つの記念事業を企画しており、一つは、150周年の記念式典を開催することが決まっている。10月3日、山形グランドホテルで午後1時半から2時間程度の式典を計画している。本日参加している各委員の方にもご案内を差し上げるので、時間があればご参加いただきたい。来賓祝辞のほかには記念講演を二つ予定している。一人は、済生館について非常に詳しい歴史研究家の小形利彦先生に講演をお願いしている。もう一人は、全国自治体病院協議会会長の望月先生という方に、医療側から現在の病院の問題点なども講演いただく予定である。

もう一つは、パネル展を考えている。済生館の1階のロビーに衝立をつくり、済生館の年表と、旧済生館などのこれまでの歴史の歩み分かるような写真パネルを作り展示したいと考えている。現在、そこに展示する写真を集めている。職員も世代が代わり、集めきれしていない部分もある。もしデジタル画像でパネル用に引き延ばせる高精細のものがあれば、済生館管理課までお知らせいただくとありがたい。

病院でのパネル展示の後は、山形駅の東西自由通路などにも展示しようと考えている。まだ周知が十分でないので、広報やまがた9月1日号に済生館の特

集記事を掲載する予定である。写真なども含めてご協力をよろしくお願いしたい。

議 長 郷土館では、何か企画しているのか。

事 務 局 郷土館では特に企画してはいなかったが、山形アーカイブにも写真を多く提供している。

委 員 山形アーカイブの写真は使っていただいて構わない。かなり高精細で画像がダウンロードできるようになっているので、利用規約さえ守ってもらえれば、パネルに使用するのは全く問題ない。

委 員 企画展示が、夏休みにかかる時期の開催ということで、PR 次第で子供たちが見に行けるのは大変ありがたい。昨年、デジタルで資料が手軽に見れるようになるという事も申し上げたが、デジタルアーカイブが先生方にも活用できるようになっていたのも、大変ありがたく思っている。山形の街がどのようにして作られたか、小学校4年生の授業で学んでいく。その際、私たち教員がここで話されたようなことを学ばないと、授業の中で活用していけない。なかなか忙しいこともあり、自分たちで調べるということが難しい。先日は郷土館や Q1 などを訪れて話を聞き、見識を深めた。そして、それらに参加した先生にこれらの取り組みなどを紹介し、デジタル教材も使って、学習予定を組みたいと思っている。そういったことを行うことで、子どもたちが、文化財の価値を知って、自分たちの住んでいる山形にこんな価値のあるものがあるということを知る種まきになれば良いと思っている。今後もデジタル教材などを配信していただけると色々と活用できる。

委 員 郷土館にある収蔵資料の目録の公開はどのようになっているのか。

事 務 局 エクセルベースの簡易な、名称、分類、分かれば年代、元の所有者などの情報を記したデータはある。それを更新する形で維持管理しているが、収蔵資料とのチェックができていない状況である。第七室の展示品を二階に移動すると申し上げたが、これで第七室が空くのでバックヤード的に使おうと考えている。企画展示の準備なども行うが、ここで収蔵台帳の整備なども行なうことを考えている。どう進めていくかはこれからだが、きちんとした台帳ができるように進めていきたい。

委 員 台帳の整備はかなり時間がかかることだと思う。一般の方でも見られる形の目録の公開を想定していった方が良いと思う。済生館の研究も、現在までの成果から、なかなか積みあがっていかない。企画展などで色々な方向から魅力を発信していると思うが、それを深めるような若手の研究者が資料を見られるような環境を整えて、次の世代の済生館の歴史を深めるような態勢を見据えていけると良い。

済生館の150周年記念の話について、パネルなどを準備されているとのことだが、病院にずっと置いておくのも難しいと思うが、ぜひ継続して行って欲しい。病院に来る方は博物館に来る方と層が違うと思うので、そこからも発信できるように、せっかく作る展示を今後も生かせると良いと思う。

委員      ブランド力ということを考えている。市立病院済生館にとっても郷土館から続く歴史はブランドなので、続けて発信していきたい。

議長      皆さんからこれ以上なければ、次の「その他」に移ります。

## 6 その他

議長      何かございますか。事務局の方は何かございますか。

事務局      ございません。

議長      様々な意見やご質問をいただきましたが、これで議事を終了したいと思います。

## 7 閉会

事務局      以上を持ちまして、令和6年度山形市郷土館運営協議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。